

昭和50年度 和歌山県文化功労賞

はざま
裕 いのすけ
伊之助 (号 さんさいてい
三彩亭)

住 所：石川県加賀市

出 身 地：和歌山県

生 年：明治28年

◎業績及び経歴

明治45年慶応義塾普通部の学生当時ヒューザン
会結成に参加、大正3年18才にして二科賞を受け
られる。続いて同7年にも受賞。

大正10年から約10年余フランスに渡り、アン
リ・マチス氏に師事する。

昭和13年二科会を退き「一水会」を設立、日展
審査員および参与となる。

昭和25年マチス展・ピカソ展・ゴッホ展等を成
功させ、その後古九谷の美に魅せられ同35年、吸
坂町に窯を築き、それを再現し、更に新しい九谷
の美を求めて意欲的な活動を続けられている。

著書に、「コロー」「マチス」「セザンヌ」「九谷
焼」等があり外国美術の紹介にも尽くされている。

氏は油彩画・水彩画・版画・陶芸と巾広いが、
その代表作を昭和49年和歌山県立近代美術館に集
め、裕伊之助展を開催した。

多趣味の人は、必ずしも珍らしくないが、氏の
ように美術に関してはどの領域でも第一級の知識
と技術を身につけている人は稀有である。